

長年の功績に深く敬意を表します 平成15年度大館市功労者

大館市功労者表彰は、社会福祉の増進、教育・文化の発展、産業の振興、保健衛生・納税貯蓄の向上など、市勢進展に大きな功績があつた個人や団体に対して行われます。毎年4月1日(市の記念日)に表彰式が行われ、今年度は次の3人のかたに決まりました。

金 義 美氏 71歳
(長面)

青年時代から自治会活動に参画し、地域の生活環境の向上に努められました。消防団分団部長、町内会長、釈迦内地区町内会長連絡協議会会長等を歴任されました。平成3年、釈迦内地区まちづくり協議会を設立し、初代会長として「あやめまつり」を創設し、市内有数のイベントとして定着させました。

栗 盛 周 藏 氏 78歳
(二井田・町)

昭和47年、大館市5代目収入役に就任。豊富な行政経験を活かし、7年間にわたり行財政の健全化と市政運営に、卓抜した手腕を發揮されました。平成3年には助役に選任され、11年間にわたり市長を補佐。大館能代空港開港、秋田桂城短期大学開学、大館樹海ドーム建設など大事業遂行に尽力されました。

渡 邊 源 四 郎 氏 74歳
(軽井沢2区)

早くから地域防犯活動を展開され、平成4年から大館市防犯協会副会長として全市的な防犯活動をされるとともに、青少年育成大館市民会議の初代会長としても活躍されました。また、平成5年から大館市交通安全協会会長として、交通安全運動を積極的に展開されました。



栗盛周藏氏



金義美氏



渡邊源四郎氏



新社会人へのエール

市長リポート

No 246

この春、厳しい就職戦線を突破して、社会人として大館に就職する皆さんに対し、心から「おめでとう」と祝福します。これから皆さんは、人生の新たなスタートを切ります。一日も早くご自分の仕事に慣れてもらいたいと思います。

また、皆さんにはお礼申し上げたいとも思っています。学校を卒業して、いろいろな選択肢があつたことでしょう。さらに上の学校へ進学するとか、大館を離れて就職するとか、非常に悩んだ上で、この大館で社会人となること、つまり大館で暮らしていくことを選んでいただいたことに「よくぞ大館を選んでくれた、ありがとう」とお礼を申し上げます。

少子高齢化や経済のマイナス成長など、今までの社会構造が大きく変化していく中、大館も変わらなければなりません。現状のままでは満足するのではなく、さらに成長していくためには、戦力が必要です。皆さんのように、新しいメンバーがいなければ、大館の再生は難しくなります。市民みんなが、皆さんに注目していますので、しっかりと頑張ってください。

さて、社会人として大事なことがあります。それはメンバーの一人として、地域社会へ貢献することです。何やら難しいことのように思えますが、実は意外なところにその答えがあります。それは、自分の仕事をきっちりこなすことです。もちろん、仕事以外で地域に貢献することはとても望ましいことですが、特別なことをしなくても、自分に与えられた仕事、役目をしっかりと果たすことが、ひいては地域社会への貢献に繋がります。

新社会人として、仕事を愛し、家族を愛し、地域社会を愛してください。そして、一緒に大館を成長させていきましょう。

小 畑 元